

株主通信

第114期 本決算

平成29年 4月 1日

平成30年 3月31日



 昭和飛行機工業株式会社

証券コード 7404



航空機給油用サービサーの前にて（平成30年5月）

代表取締役社長 **田沼千明** たぬま ちあき

株主のみなさまには平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

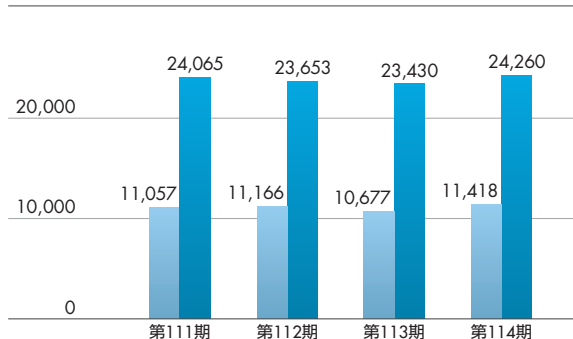
当社第114期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の事業概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社グループの状況について

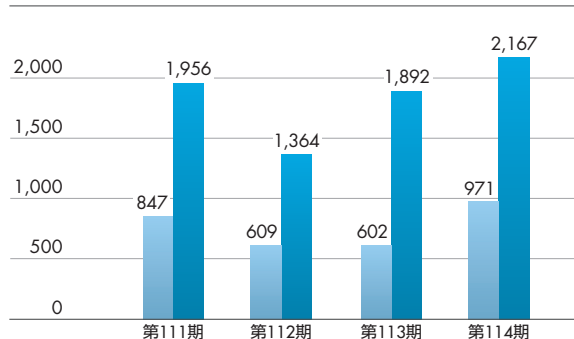
当 期におけるわが国経済は、所得・雇用環境の改善がみられ、各種政策効果もあり景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、地政学的リスクの高まりや、米国の政策の不確実性等から、先行きは不透明な状況が続いております。

財務ハイライト

● 売上高 ■ 第2Q ■ 期末 (百万円)



● 営業利益 ■ 第2Q ■ 期末 (百万円)



当期における連結業績は、売上高242億60百万円（前期比8億29百万円、3.5%増）、営業利益21億67百万円（前期比2億75百万円、14.5%増）、経常利益18億36百万円（前期比1億51百万円、9.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は10億66百万円（前期比12百万円、1.2%減）となりました。

次期の見通し

次 期の連結業績は、前年度並みを見込んでおり、売上高250億円、営業利益22億円、経常利益19億円、親会社株主に帰属する当期純利益10億円を予想しております。

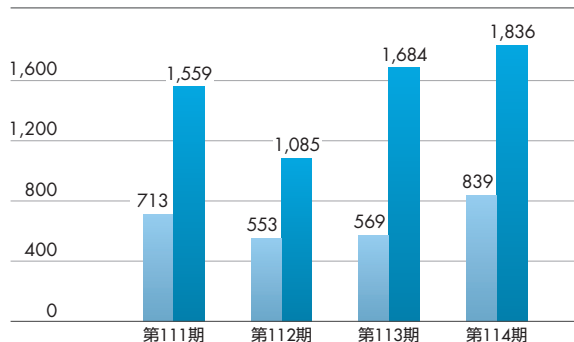
株主のみなさまへの利益還元について

当 期の期末配当につきましては、業績と経営環境を総合的に勘案し、期末配当4円に加えて、平成29年6月に迎えた創立80周年の記念配当として2円、合計で1株当たり6円とさせていただきますたく存じます。中間配当金として1株当たり4円を実施しており、年間の配当金としては1株当たり10円となります。

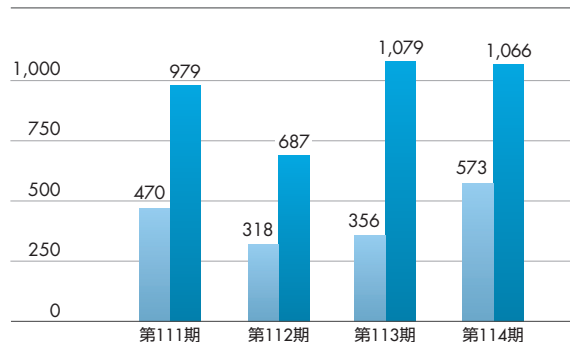
また、次期の年間配当につきましては、現時点では中間配当5円、期末配当5円の、年間10円とさせていただきます予定です。

今後とも株主のみなさまにおかれましては、格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 経常利益



● 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益





輸送用機器関連事業

セグメント売上高 **9,178**百万円
前期比 **6.3%**増

タンクローリー等の特殊車両や航空宇宙用途のハニカムパネルの売上が増加したこと等により、当期の売上高は91億78百万円と前期に比べ5億42百万円、6.3%の増収、セグメント利益は増収効果等により3億37百万円と前期に比べ1億40百万円、71.6%の増益となりました。

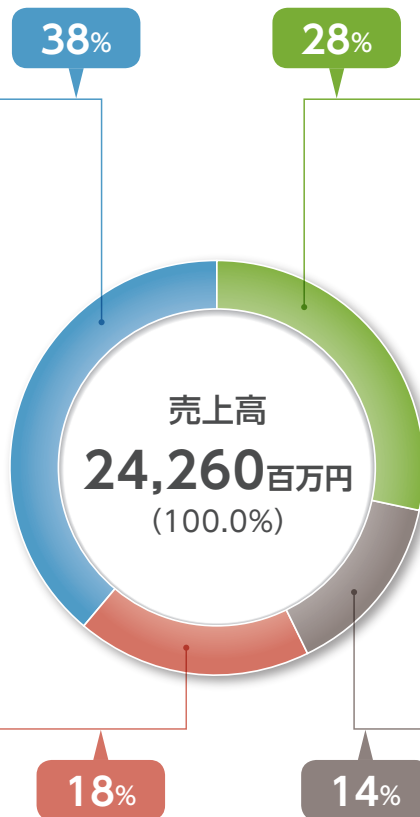


ホテル・スポーツ・レジャー事業

セグメント売上高 **4,388**百万円
前期比 **0.1%**減

ゴルフ場等のスポーツ施設が降雪の影響を受け、当期の売上高は43億88百万円と前期に比べ3百万円、0.1%の減収、セグメント損益は施設更新の費用が増加したこと等により3億4百万円の損失(前期2億67百万円の損失)となりました。

売上高構成比



不動産賃貸事業

セグメント売上高 **6,913**百万円
前期比 **2.0%**増

商業施設のイベント開催による販売促進や新規賃貸等により、当期の売上高は69億13百万円と前期に比べ1億33百万円、2.0%の増収、セグメント利益は増収効果や公租公課負担の減等があり21億91百万円と前期に比べ1億45百万円、7.1%の増益となりました。



物販事業

セグメント売上高 **3,331**百万円
前期比 **4.3%**増

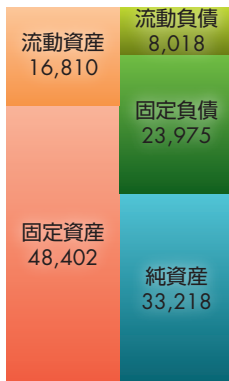
事業用サウナ等の温浴設備の受注・売上が順調に推移したこと等から、当期の売上高は33億31百万円と前期に比べ1億36百万円、4.3%の増収、セグメント利益は56百万円と前期に比べ14百万円、34.7%の増益となりました。

なお、その他事業の売上高として447百万円ございます。

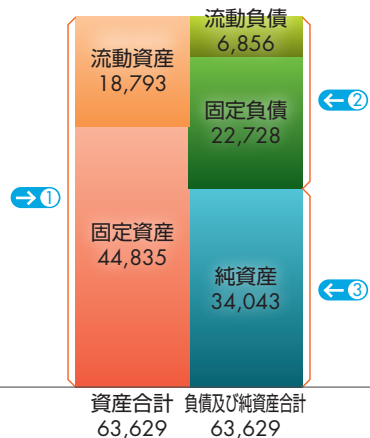
連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)

前連結会計年度
(平成29年3月31日現在)



当連結会計年度
(平成30年3月31日現在)



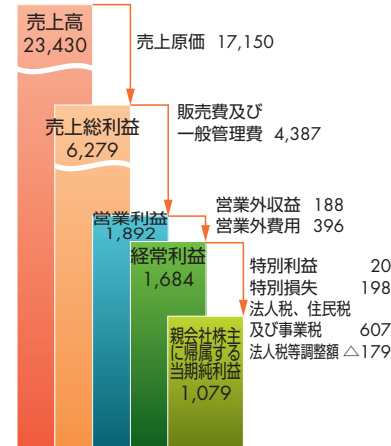
連結財務諸表のポイント

- ① **資産の部** 有形固定資産の売却等による現預金の増加があった一方、賃貸用倉庫の売却や減価償却により総資産は減少しました。
- ② **負債の部** 有形固定資産の取得による未払金や有利子負債の減少等により、負債は減少しました。
- ③ **純資産の部** 親会社株主に帰属する当期純利益の増加や退職給付に係る調整累計額の計上により、純資産は増加しました。

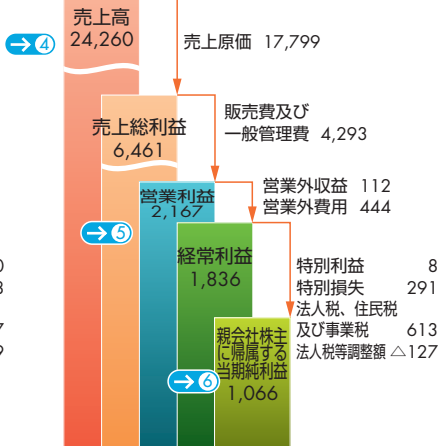
連結損益計算書の概要

(単位：百万円)

前連結会計年度
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)



当連結会計年度
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)



連結財務諸表のポイント

- ④ **売上高** 輸送用機器関連事業、不動産賃貸事業が売上を伸ばしたことにより、売上高は増加しました。
- ⑤ **営業利益** 輸送用機器関連事業の増収効果に加え、不動産賃貸事業の新規賃貸等により、営業利益は増益となりました。
- ⑥ **親会社株主に帰属する当期純利益** 受取配当金の減少のほか、社有地再開発に伴う固定資産除売却損や減損損失の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益は微減となりました。

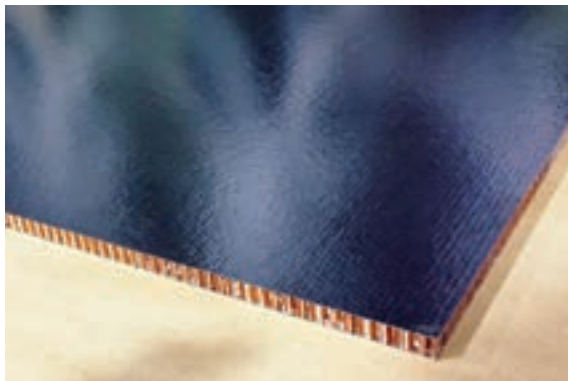
航空機床板用ハニカムサンドイッチパネルのボーイング社認定取得

輸送用機器

平成30年3月、当社は、航空機床板用ハニカムサンドイッチパネルを開発しボーイング社の認定(BMS4-20)を取得しました。このサンドイッチパネルはボーイング社が製造する旅客機の客室の床に使用されるものです。当社は、ハニカム素材でボーイング社の認定を取得していますが、航空機床板用ハニカムサンドイッチパネルでは初の認定取得となります。

このパネルは、高強度で耐熱性に優れたアラミド紙に樹脂を含浸させて製造したアラミドハニカムを芯材に使用し、CFRPの表面板で挟んだサンドイッチパネルで、平成30年5月22日(火)～23日(水)、米国カリフォルニア州ロングビーチコンベンションセンターにて開催された「SAMPE 2018(新素材展)」に出展し北米をはじめとする各国の航空機関係企業に紹介しました。

今回の認定取得を契機により多くの航空機への採用を目指すため、国際的な展示会に出展し知名度の向上を図るとともに、認定範囲の拡大とそれによる販売拡大を計画しています。



BMS4-20認定 航空機床板用ハニカムサンドイッチパネル



SAMPE2018 当社展示ブース

モリタウン本館専門店街改修工事スタート

不動産賃貸

平成30年2月から、開業34年目となるモリタウン本館専門店街の改装工事が始まりました。近年のモリタウン周辺における競合商業施設の開業による商圈狭小化や顧客ニーズの変化による店舗の多様化等に対応し、今後20年にわたり競争力を維持していくため、店舗区画を変更するとともに新規テナントの導入や既存店の移設を行い、専門店街の活性化を図ります。

また、エスカレーターの配置転換や吹き抜けとレストスペースを新設し、回遊性と滞留性を向上させます。



物流施設・食品工場本格稼働

不動産賃貸

物流施設ゾーンと定めた開発計画地「C地」及び「D地」のうちC地(約4,000坪)については、東京ロジファクトリー(株)による物流倉庫の建築工事が計画通り進捗し平成30年1月から本格稼働いたしました。

また、D地(約2,000坪)については、(株)Olympicグループにより平成29年12月に食品工場が竣工し、平成30年2月から本格稼働を開始し、一連の物流施設ゾーンの開発計画が完了しました。



会社概要 (平成30年3月31日現在)

社名	昭和飛行機工業株式会社 Showa Aircraft Industry Co.,Ltd.
本社・工場	〒196-8522 東京都昭島市田中町600番地
設立年月日	昭和12年6月5日
資本金	4,949百万円
主要な事業内容	特装車及び生活支援機器の製造・販売 航空支援機器及び軽合金構造物の製造・販売 ハニカムコア等の製造・販売 不動産の賃貸
従業員数	380名(グループ従業員数 741名)
営業所	仙台営業所、中部営業所(名古屋)、 関西営業所(大阪)
昭和飛行機グループ	昭和の森総合サービス(株) 昭和飛行機テクノサービス(株) アーバンリゾーツ昭和の森(株) 昭和の森エリアサービス(株) ハーレーダビッドソン昭和の森(株) 昭和飛行機ビジネスコンサルタント(株) (株)メトス SHOWA AIRCRAFT USA INC. Showa Aircraft Industry Philippines Inc.

役員 (平成30年6月26日現在)

代表取締役社長	田沼 千明	取締役	平畑 文興
専務取締役	福持 克之助	取締役	なおえ 直江 俊式
常務取締役	小川 英彦	取締役	たくち 田口 昭一
常務取締役	とみた 富田 義彦	常任監査役	まつうら 猪野 修一
常務取締役	まさき 正木 晶	監査役	あきと 松浦 明人
取締役	きのした 木下 尚久	監査役	はらだ 原田 文雄
取締役	はせい 長谷井 誠		

(注) 1. 取締役平畑文興氏及び直江俊式氏は社外取締役であります。
2. 監査役松浦明人氏及び原田文雄氏は社外監査役であります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
公告方法	電子公告(予備的公告方法は日本経済新聞) 公告掲載アドレス http://www.showa-aircraft.co.jp/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

株式の状況 (平成30年3月31日現在)

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式総数	33,606,132株
株主数	2,557名

大株主

株主名	所有株式数		持株比率
	千株	%	
三井造船株式会社	16,241	49.80	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・三井造船株式会社退職給付信託口)	5,131	15.73	
MSIP CLIENT SECURITIES	1,648	5.06	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	672	2.06	
フォスター電機株式会社	555	1.70	
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	547	1.68	
株式会社タチエス	535	1.64	
HSBC BANK PLC - MARATHON VERTEX JAPAN FUND LIMITED	424	1.30	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	235	0.72	
JP MORGAN CHASE BANK 380621	235	0.72	

所有者別分布状況



(お知らせ)

<住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について>

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

<未払配当金の支払いについて>

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

<「配当金計算書」について>

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

